岩熊八幡宮　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒

　当社の由緒沿革は不詳である。
「岡山市の近世寺社建築」に次の通り記載されている。
　本殿は三間社で屋根は入母屋造りである。柱は本柱が円柱、庇を几帳面取り角柱とする。組み物は大斗肘木。軒を一軒疎垂木とする。本柱と向拝は海老虹梁でつなぐ。正面側面三方に擬宝珠付き柱の高欄をめぐらし、向拝には浜床を設ける。柱間装置は正面中央間桟唐戸で、両脇間を板戸引き違いとし、背側面は全ての間を板壁とする。
材は松が中心で、向拝廻りは特に吟味された良材を使用している。
　本殿の建立年代を示す資料はないが、木鼻や海老虹梁の渦の形状等の様式からみて、１８世紀前期頃と思われる。
　なお、向拝の軒を二軒にする計画があったのかも知れない。派手さはないが、堅実な仕事がされている建物である。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	08085
神社名	岩熊八幡宮（イワクマハチマングウ）
通称名	氏神様
旧社格	村社
鎮座地	〒709-0613 岡山市東区百枝月1466
電話番号	090-8990-3421
FAX番号	086-201-1555
駐車場	無
御祭神	仲哀天皇,応神天皇,神功皇后
御神徳	
主な祭典	１０月２２日：秋祭
宮司宅電話	086-297-9600
URL	
e-mail	kmiyake33@gmail.com
特記事項	
氏子地域	岡山市東区（百枝月）

交通アクセス

ＪＲ赤穂線西大寺駅から東へ３km

検索画面に戻る

© 2016 Okayamaken Jinjacho